

しまね学生インターンシップ(2021夏期) 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

2021夏期インターンシップ受入事業所 実施報告アンケート

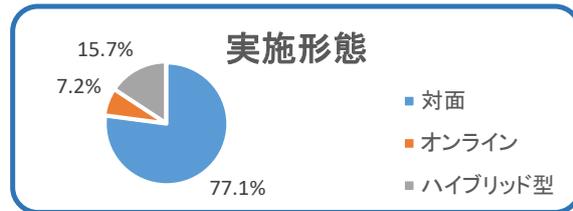
マッチング(受入)事業所数 : 76社

回答データ: 70件

回答率: 92.1%

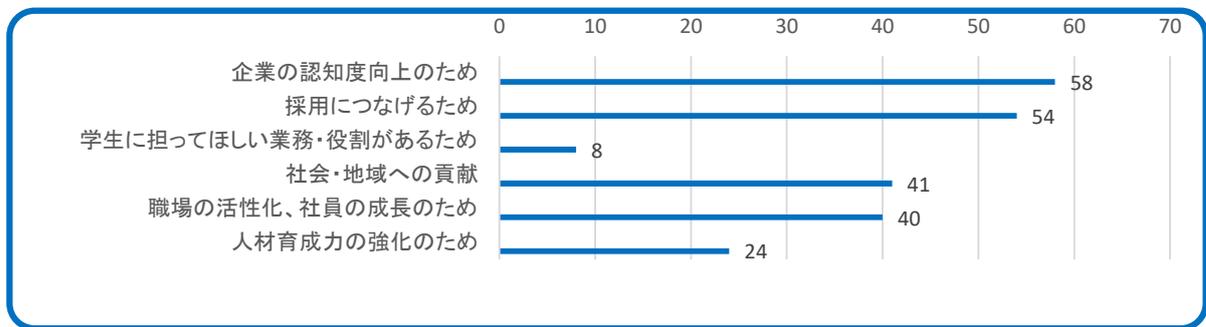
問1 インターンシップの実施形態

	count	rate(%)
対面	54	77.1
オンライン	5	7.2
ハイブリッド型	11	15.7
合計	70	100.0



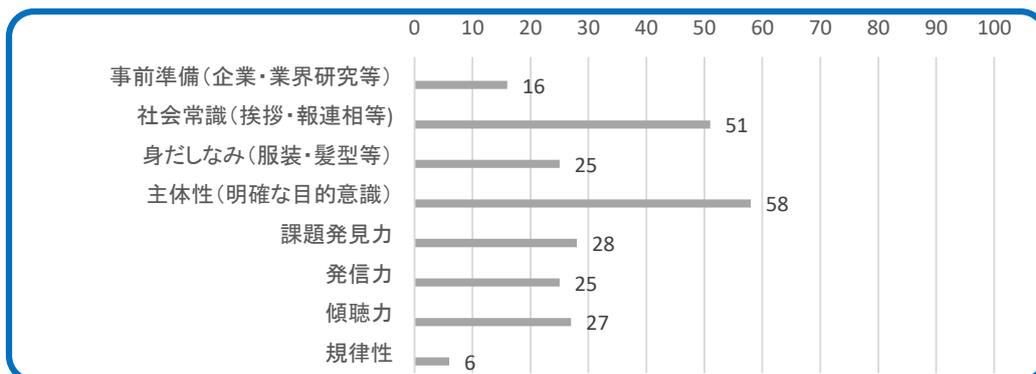
問2 インターンシップを受け入れた主な目的として該当するものを選択してください。(複数回答可)

	count
企業の認知度向上のため	58
採用につなげるため	54
学生に担ってほしい業務・役割があるため	8
社会・地域への貢献	41
職場の活性化、社員の成長のため	40
人材育成力の強化のため	24



問3 インターンシップ参加学生に求めていたこと(複数回答可)

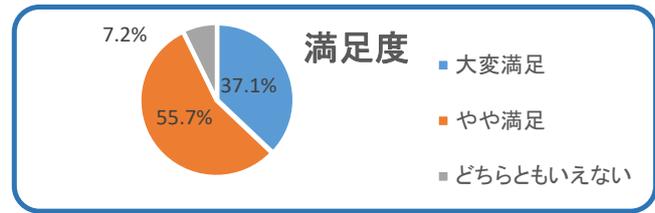
	count
事前準備(企業・業界研究等)	16
社会常識(挨拶・報連相等)	51
身だしなみ(服装・髪型等)	25
主体性(明確な目的意識)	58
課題発見力	28
発信力	25
傾聴力	27
規律性	6



しまね学生インターンシップ(2021夏期) 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

問4 全体を通じた満足度

	count	rate(%)
大変満足	26	37.1
やや満足	39	55.7
どちらともいえない	5	7.2
合計	70	100.0



問5 よいインターンシッププログラムとなるように、自組織で工夫したこと(抜粋)

- ▶ 年代の近い若手社員に対応の主体となってもらった。
- ▶ 社員と交流しながら、質問できる場(時間)を多く設けた。
- ▶ 地域へ出かけ、地域の方とふれあう時間を設けた。
- ▶ 日報のフォーマットを紙媒体からWEB媒体に変更。WEBを通して社員全員がいつでも何度でも日報を閲覧しコメントできる仕組みとした。
- ▶ 交流会を行ったり、実際に業務をしているスタッフルームでインターンシップを行うことにより、社内の雰囲気を見てもらえるようにした。
- ▶ 採用関係業務を担当している社員だけでなく、実際の営業や現場管理等の実務をこなしている社員との接点も作った。
- ▶ 志望動機にあるような内容を、プログラムに組み込んだ。
- ▶ 視覚障がいに対する知識や、手引きを学んで頂くような講義と実技を行った。また点字図書館の見学の時間を設け、視覚障がい者への情報提供のツールを学んで頂いた。

複数部署と連携して参加者に弊社の多岐に渡る業務内容を理解いただけるようにしました。あわせて客先訪問をし、お客様から弊社サービスの意義などを説明いただき、参加者に弊社のサービスの重要性・必要性の理解が図られるようにしました。座談会は若手社員、中堅社員、社長と話をする機会を設け、様々な社員と交流できる機会も提供しました。

- ▶ 学生の興味ある事、知りたい情報やりたい事など、可能な限り応えられるようにしました。
- ▶ 具体的に学びたいこと、体験したいことを事前に確認し、座学も含めた計画をした。
- ▶ こちからの一方的な話ではなく、会話のキャッチボールが出来るように自己紹介や座談会など行いました。
- ▶ 普段知ることのない裏方の仕事の大切さも知っていただくために、偏りがないように実習内容を計画した。
- ▶ 以前に行ったインターンシップの内容で改善するべき事をスタッフで話し合いをし、ブラッシュアップしました。
- ▶ ありのままの会社を見ていただく事。
- ▶ 初日にどのようなことに興味があるかヒアリングし、その回答に応じて5日間のプログラムを考えました。
- ▶ 社員が働いている姿を包み隠さずそのまま見ってもらうようにしました。
- ▶ 学生にビデオカメラを常時携帯させて、職員へのインタビュー撮影や編集をして頂いた。自身の興味や気付きを明確にすることができたと思う。
- ▶ 必ずスタッフがつくように(一人にしないように)した。